

新聞におけるユニバーサルデザインの研究 ～後期高齢者に着目して～

Research on Universal Design in Newspapers ～Focusing on the older elderly～

小浜 朋子
デザイン学部 デザイン学科

OBAMA Tomoko
Department of Design, Faculty of Design

多くの新聞購読者は高齢者であるため、新聞社はそれぞれに、文字サイズの大きさやフォントの形状など読みやすさへの配慮を重ねてきている。本研究の目的は、その効果が購読者にどのように認識されているかを明確にし、今後の改善方向性を見出すことであり、フォントメーカーや新聞社と協力して、2015年から2018年にかけて2ステップで調査を行った。第1調査では、高齢者27名を対象に、現行の5紙の新聞における読みやすさの評価とその理由を聴き取り、「大きくはっきりした文字」は評価されているが、その程度によっては読みにくさが生じていることを把握した。第2調査では、「文字の扁平率」「行間」「段間」などを微妙に変えたサンプルを実際の紙面の仕様で作成し、高齢者41名と若年・壮年者146名を対象に「新聞の読みやすさに関わるデザインの要件」を明らかにするべくアンケート調査を行った。その調査の所見を基に、数名の後期高齢者にヒアリング調査を重ねて行い、「文字の大きさや太さ」だけでなく「行間、文字間、段間の微妙なスペースのバランス」を考えることも重要であるとの結論を得た。この研究結果は、新聞業界にも少なからずの影響を与え、早くもレイアウトの改善を行った新聞もでてきている。

Since many newspaper subscribers are elderly people, newspaper publishers are increasingly giving consideration to legibility, such as font size and font shape. The purpose of this research is to clarify how the effect is perceived by subscribers, and to find a direction for future improvement. In cooperation with font manufacturers and newspaper companies, we conducted a two-step survey from 2015 to 2018. In the first survey, 27 elderly people were asked about their readability assessment and the reasons for the current five newspapers. We understood that "Large and clear characters" were evaluated, but it was found that they felt a problem depending on the degree. In the second survey, a sample was created in which the "flatness of characters", "line spacing", and "step spacing" were slightly changed using actual paper specifications. A questionnaire survey was conducted on 41 elderly people and 146 young and middle-aged people to clarify the "design requirements related to readability of newspapers". Based on the survey results, we interviewed several elderly people repeatedly, and concluded that it was important to consider not only "character size and thickness" but also "subtle spaces between lines, characters, and columns." This research has had a considerable impact on the newspaper industry, and some newspapers have already improved their layout.

1. はじめに

情報伝達の手段は多様化し、新聞の購読者数は減少しているとはいうものの、高齢者の多くは「テキストでニュースを得る手段」として紙の新聞を利用している¹⁾。また、高齢者の見やすさに関する研究やガイドラインなども充実し、読みやすさに配慮されたUDフォントも開発され²⁾、各新聞社はそれらを反映させて高齢者への配慮を重ねてきている。UDフォントの効果については、視認性、判別性、可読性に審美性も加えて検証した報告もある³⁾。しかし、実際に新聞紙面を見て、読者がどのように読みやすさを感じているのか、その効果を把握した報告はまだない。



図1. 第1調査の風景



図2. 第2調査の風景（左：静岡市役所のUD推進会議にて職員を対象に評価を実施，右：高齢者のフォロー調査）

新聞は紙面サイズが決まっているため、文字サイズ、フォントなどの最適条件が満たされても、段組み（1段の文字数）や段間や行間、それに伴う文字の扁平率の変化などを調整する中で、読みやすさは変わってくる。そこで、フォントメーカーの㈱イワタと㈱静岡新聞社と共同で、購読者の現状を明確に把握し、今後の改善方向につなげる「新聞の読みやすさに関わるデザインの要件」を明らかにしたいと考えた。2015年3月に第1調査を（図1）、2016年9月に第2調査を行い（図2）、さらに新聞を購読している後期高齢者にヒアリング調査を重ねて結論を導いた。

2. 第1調査

2-1. 調査方法

テストルームは約2畳の広さで（W1800×D1800×H2100mm）、中央に高さ約700mmのテーブルが置いてあり、天井の中央にPanasonic製のLEDシーリングライト（HH-LC711A）が設置されている。このシーリングライトは、色温度と照度がリモコンで調光できるようになっている。最も色温度が高い昼白色（x：0.3205/y：0.3472）では0～1090.5lx、最も色温度が低い電球色（x：0.4568/y：0.4101）では0～702.6lxの範囲で調光できる。

まず、昼光色（x：0.3205/y：0.3472）約600lxの照明条件のテストルームに、評価者は一人ずつ入って椅子に座り、評価用紙面の5紙をテーブルの上で見て、それぞれの評価を行った。評価用紙面の5紙は2016年2月9日の朝日新聞、読売新聞、中日新聞、静岡新聞、日本経済新聞の朝刊で、表1に示す仕様である。1面の紙面とラジオテレビ欄の読みやすさを5段階で評価し（5点：良い、4点：やや良い、3点：どちらともいえない、2点：やや悪い、1点：悪い）、その評価の理由や普段の新聞との付き合い方などを実験者が聴き取った。

さらに、読みやすいと感じる明るさの範囲を昼白色と電球色の両方で測定した。評価者は、昼白色の環境下において、これ以上暗いと読みにくい明るさ（最小値）とこれ以上明るいと感じにくい明るさ（最大値）を、リモコンを調節して提示し、実験者は最大値と最小値の照度を記録した。続いて電球色の環境下でも同様の調査を行った。この調査は、静岡新聞と中日新聞の2社のみを行い、評価には1面の紙面を用いた。

評価者は、新聞を購読している東京と浜松に在住の27名の高齢者の男女。年齢は62～82歳（平均74.8歳）で、75歳以上の後期高齢者が16名で半数以上を占めている。購読している新聞は、読売新聞（9名）、静岡新聞（7名）、

続いて日本経済新聞、スポーツ紙の順で、2紙を購読している人は5名であった。

2-2. 調査結果

読みやすさの評価を全体で見ると、日本経済新聞社は文字の小ささが指摘されたが、文字の大きさに配慮をしているその他の4社は各社とも半数以上が読みやすいと評価されており（図3）、「文字の大きさ」がその主な理由であることから、4紙がそれぞれ文字を大きくしてきた配慮の効果は確認できた。しかし、静岡新聞は、「文字が詰まりすぎている」、「文字がつぶれたように見える」という指摘もあった。文字を大きく太くしていることから、はっきり見えて読みやすいと評価されたものの、トレードオフで行間が狭くなるのが読みにくさの原因であると思われる。また、静岡新聞を購読している7人の評価に限ると、それほど評価は劣っていないことから、読み慣れているとその影響は小さいということも想定される。読売新聞の読者に限って分析した場合も、読売新聞の評価が最もよくなっていることから、読み慣れによって読みやすさの評価は異なってくると言えそうだ。

昼白色と電球色の2つの異なる色温度の条件下において、「読みやすいと感じる明るさの範囲」を示した結果が図4である。全評価者が読みやすいと感じた照度の明るい方の限界値（最大値）と暗い方の限界値（最小値）を平均してプロットしたものである。

昼白色において、静岡新聞は最小値が321.1lxで中日新聞よりもより低く、最大値は1033.6lxで中日新聞よりも高くなっており、静岡新聞の方がより明るい所、より暗い所まで「読みやすい」と感じることができると言える。言い換えると、環境の明るさの許容範囲が広く、より多くの場所で読みやすいと感じてもらえるということにもなる。

電球色においては大きな差が見られなかった。これはシーリングライトのスペックで、電球色の照度の上限が約700lxであったことが影響しており、もしそれ以上に照度が上げられる機器であれば、あるいは昼白色と同様の効果

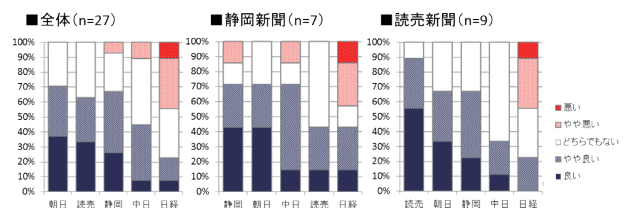


図3. 5紙の読みやすさ評価結果

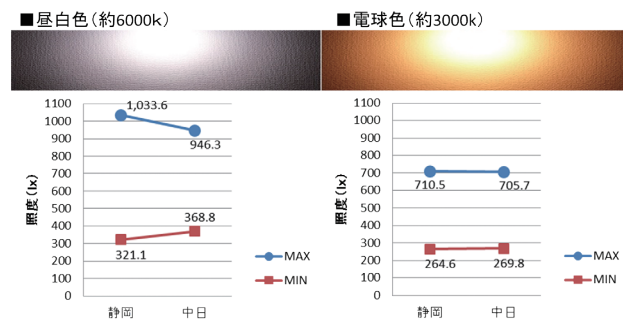


図4. 読みやすいと感じる照度の範囲

表1. 第1調査における各紙1面の仕様

新聞名	静岡	読売	中日	日本経済	朝日
段数	12段	12段	12段	15段	12段
1段の文字数	12文字	12文字	12文字	11文字	12文字
行数	71行	71行	71行	78行	72行
文字サイズ 縦(mm)	3.2	3.1	3.31	2.9	3.3
文字サイズ 横(mm)	4	3.7	3.86	3.6	3.9
文字の扁平率	80.0%	83.7%	85.7%	83.2%	84.7%
行間 (ミルズ=0.0274mm)	57.2	55	60	53	54.5
フォント	イワタUD	自社明朝	自社明朝	自社明朝	自社明朝

が確認出来、昼白色との比較も行うことも出来たかもしれないが、今後の研究で補完していきたい。

主な新聞の読み方として、テレビで入手したニュースを後からじっくり理解するために読む、また、他で得られない知的刺激を得るために読む、というコメントが多く聞かれた。新聞がこのような活用をされるものとして位置づけられるのであれば、少々難しい内容でもストレスなく読みたくなるような「読みやすさ」への配慮は、高齢者だけでなく多くの人に求められるものであり、新聞の「信頼性」の価値を高める重要なポイントとなるのではないかと考えられる。

3. 第2調査

第1調査の結果、UDフォントや文字の大きさの効果はいずれの紙面においてもある程度認められた。しかし、静岡新聞のように「横に少々太らせ大きくした(扁平率が高い)フォント」を使うことは、やや暗い場所や、やや明るすぎる場所での読みやすさには効果はあるものの、文字間や行間が狭くなりすぎて読みにくくならないような配慮が必要であることに気づかされた。そこで、「文字の扁平の度合い」の違いとそれに関わる新聞の基本体裁のデザインがどのように読みやすさに影響しているかを明らかにするために、第2調査を行った。

3-1. 調査方法

「文字の扁平の度合い」を変える手法は、限られた新聞のスペースの中で文字をより大きく見えるようにしつつ、多くの情報を盛り込むために考えられたもので⁴⁾、「文字の扁平の度合い」を文字の高さと文字の幅の割合で表したものを扁平率という。正方が100%で、数値が小さくなるほど縦方向につぶれた文字になり「扁平率が高い」と表現する。今の新聞では、大体87%~79%の扁平率の文字が用いられている⁵⁾。調査では、「扁平率の違いによる読みやすさ」の他、「紙面の基本体裁の違いによる読みやすさ」、「書体の違いによる読みやすさ」についても評価を行うこととし、各々ブラケットサイズ1ページにおさまる評価用の紙面を考案し、輪転機を回して実際の新聞紙面のような体裁の評価サンプルを制作して調査を行った。

評価用の紙面とアンケートを一式封筒に入れ、個別に評価を依頼した。会場で一斉に評価を行ったケースもある。評価者は新聞を購読している人で、静岡県と東京都在住の70代以上の高齢者41名含む187名の男女である。アンケート調査の結果を分析後、その内容を深堀するために、数名の高齢者(70歳以上の男女)にさらにヒアリング調査を2回行った。

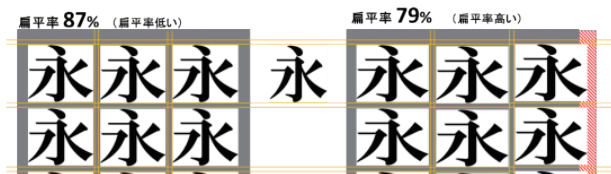


図5. 文字の扁平率

3-2. 調査結果

(1) 扁平率の違いによる読みやすさ評価

「扁平率の違いによる読みやすさ」を評価する紙面には、イワタUD新聞明朝の書体を使用し、87%、85%、84%、83%、81%、79%の6種類の扁平率を用意した。行長、行間とも同一、字送りベタの条件の組み版で、6種類の扁平率の文字で記載された同じ内容の記事を、ブラケットサイズ1ページにランダムに配置した。行長は固定であるため、扁平率が高くなるに従い左右幅は広くなる。したがって、扁平率79%は扁平率87%に比べて文字に占めるスペースが大きくなり、紙面に占めるスペースも大きくなる(図5参照)。

評価者には、読みやすいと感じるものを最大3つまで選択してもらった。結果は図6に示すように、70代以上の高齢者は約8割の人が扁平率79%を読みやすいと感じており、その理由は図7に示すように、文字の大きさや太さをあげている人が多い。一方若年者は、扁平率の違いによる読みやすさの差異がそれほど認められない。読みやすさの理由についても大きな特徴はみられない。このことから、高齢者は文字の大きさをはっきりと感じ取り読みやすさの判断基準となっているが、若年者にはそのような感覚があまりなく、読みやすさの判断基準が個人の好みによっていることが考えられる。

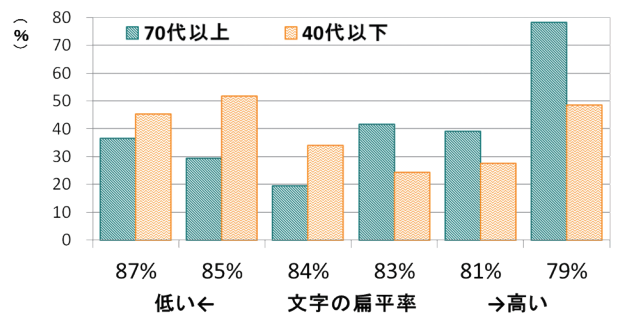


図6. 文字の扁平率による読みやすさ評価

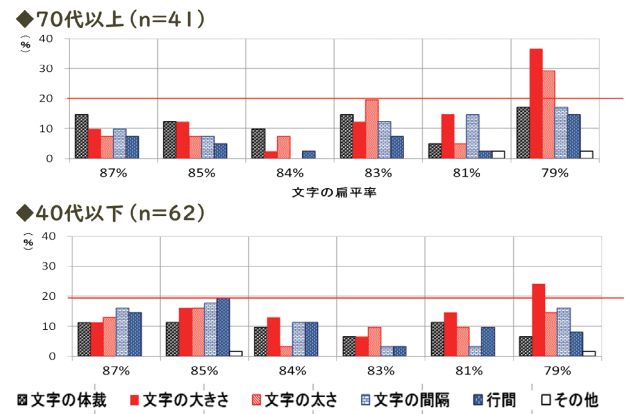


図7. 文字の扁平率による読みやすさ評価理由

⑥ 社

12段 12文字 扁平率 85%

④ 社

12段 12文字 扁平率 85.4%

③ 社

12段 12文字 扁平率 84.7%

伊豆仮設費は組織委負担 県「恒久改修も支援を」

2020年東五輪、パラリンピックの開催を巡る建設費負担が、伊豆市と伊豆市に所属する伊豆市市議員らによって、伊豆市と伊豆市に所属する伊豆市市議員らによって、伊豆市と伊豆市に所属する伊豆市市議員らによって...

伊豆仮設費は組織委負担 県「恒久改修も支援を」

2020年東五輪、パラリンピックの開催を巡る建設費負担が、伊豆市と伊豆市に所属する伊豆市市議員らによって、伊豆市と伊豆市に所属する伊豆市市議員らによって、伊豆市と伊豆市に所属する伊豆市市議員らによって...

伊豆仮設費は組織委負担 県「恒久改修も支援を」

2020年東五輪、パラリンピックの開催を巡る建設費負担が、伊豆市と伊豆市に所属する伊豆市市議員らによって、伊豆市と伊豆市に所属する伊豆市市議員らによって、伊豆市と伊豆市に所属する伊豆市市議員らによって...

伊豆仮設費は組織委負担 県「恒久改修も支援を」

2020年東五輪、パラリンピックの開催を巡る建設費負担が、伊豆市と伊豆市に所属する伊豆市市議員らによって、伊豆市と伊豆市に所属する伊豆市市議員らによって、伊豆市と伊豆市に所属する伊豆市市議員らによって...

伊豆仮設費は組織委負担 県「恒久改修も支援を」

2020年東五輪、パラリンピックの開催を巡る建設費負担が、伊豆市と伊豆市に所属する伊豆市市議員らによって、伊豆市と伊豆市に所属する伊豆市市議員らによって、伊豆市と伊豆市に所属する伊豆市市議員らによって...

伊豆仮設費は組織委負担 県「恒久改修も支援を」

2020年東五輪、パラリンピックの開催を巡る建設費負担が、伊豆市と伊豆市に所属する伊豆市市議員らによって、伊豆市と伊豆市に所属する伊豆市市議員らによって、伊豆市と伊豆市に所属する伊豆市市議員らによって...

⑤ 社

15段 10文字 扁平率 84%

① 社

15段 10文字 扁平率 81%

② 社

12段 13文字 扁平率 79.2%

伊豆仮設費は組織委負担 県「恒久改修も支援を」

2020年東五輪、パラリンピックの開催を巡る建設費負担が、伊豆市と伊豆市に所属する伊豆市市議員らによって、伊豆市と伊豆市に所属する伊豆市市議員らによって、伊豆市と伊豆市に所属する伊豆市市議員らによって...

伊豆仮設費は組織委負担 県「恒久改修も支援を」

2020年東五輪、パラリンピックの開催を巡る建設費負担が、伊豆市と伊豆市に所属する伊豆市市議員らによって、伊豆市と伊豆市に所属する伊豆市市議員らによって、伊豆市と伊豆市に所属する伊豆市市議員らによって...

伊豆仮設費は組織委負担 県「恒久改修も支援を」

2020年東五輪、パラリンピックの開催を巡る建設費負担が、伊豆市と伊豆市に所属する伊豆市市議員らによって、伊豆市と伊豆市に所属する伊豆市市議員らによって、伊豆市と伊豆市に所属する伊豆市市議員らによって...

伊豆仮設費は組織委負担 県「恒久改修も支援を」

2020年東五輪、パラリンピックの開催を巡る建設費負担が、伊豆市と伊豆市に所属する伊豆市市議員らによって、伊豆市と伊豆市に所属する伊豆市市議員らによって、伊豆市と伊豆市に所属する伊豆市市議員らによって...

伊豆仮設費は組織委負担 県「恒久改修も支援を」

2020年東五輪、パラリンピックの開催を巡る建設費負担が、伊豆市と伊豆市に所属する伊豆市市議員らによって、伊豆市と伊豆市に所属する伊豆市市議員らによって、伊豆市と伊豆市に所属する伊豆市市議員らによって...

伊豆仮設費は組織委負担 県「恒久改修も支援を」

2020年東五輪、パラリンピックの開催を巡る建設費負担が、伊豆市と伊豆市に所属する伊豆市市議員らによって、伊豆市と伊豆市に所属する伊豆市市議員らによって、伊豆市と伊豆市に所属する伊豆市市議員らによって...

図8. 紙面基本体裁の違いによる読みやすさ評価に用いた6つのサンプル

(2) 紙面の基本体裁の違いによる読みやすさ評価

「紙面の基本体裁の違いによる読みやすさ」を評価する紙面は、各新聞社が現在発行している新聞をスキャンし、イラストレーターに取り込んで、実施面に極力近づけた体裁で6社とも同じ内容の記事を記載し、ブランケットサイズ1ページにランダムに配置し作成した(図8参照)。評価者には、読みやすいと感じるものを最大3つまで選択

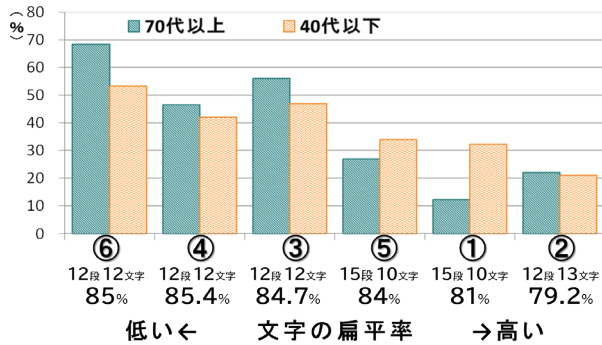


図9. 紙面基本体裁の違いによる読みやすさ評価

してもらった。結果は、図9に示すように、全体に最も支持されたのは⑥で、高齢者ではその傾向が顕著であった。⑥は6種の中で最も扁平率が低いサンプルであり、(1)の結果とは逆の傾向となる。評価理由としては、図10に示すように、高齢者は文字の大きさを挙げていますが、実際には比較的字体は小さい。おそらく、文字回りの空間がすっきりしているということが評価されているのではな

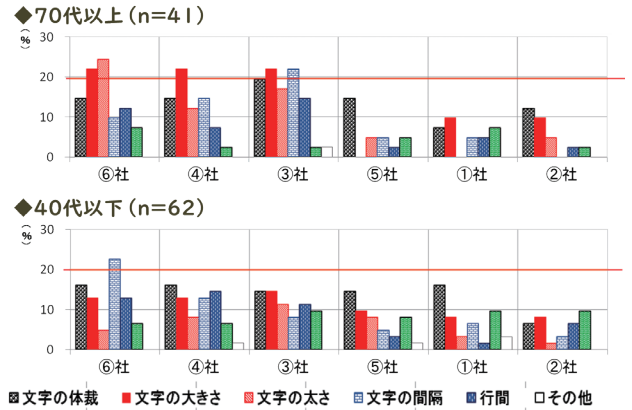


図10. 紙面基本体裁の違いによる読みやすさ評価理由

■ イワタUD新聞明朝

4.30おはよう日本	5.30テレビでロシア語	5.30昭和からくた劇場
▽国内外の最新ニュース	6.55Eテレマシャキーン!	6.00情報特選街
▽スポーツ情報▽地域の課題や話題のレポート▽日本	▽アニメ▽デザイン▽ピタゴラスワックアップ	8.00キッズ劇場
00 まれ 土屋太鳳	00 おかあさんいないくないはあっ!▽えいご▽てれび絵本	8.30お買物情報暮らしに役立つ、選りすぐり商品
15 あさイチ「プレミアムトーク 山崎賢人」	00 さわさわ森のがんごちゃん「ラッパの一日」	9.00 いい伊豆みつけた
▽あさイチグリーンスタイル「今宵育てたい植物 夏のタネまき」	00 しぜんとあそぼ▽基礎	9.30 情報特選街 暮らし
00 ニュース・気象情報	00 英語▽基礎英語	59 tvkスポットニュース
15 きょうの料理	55 NHKプレマップ	10.00 デイリーキッチン
40 先どり	00 国境スタイル がん	30 お買物情報 暮らし
00 ニュース・気象情報	00 リトル・チャロ	59 お買物情報 暮らしに役立つ商品をご紹介
05 ひるまほっと▽いま旬▽首都圏ニュース	55 NHKプレマップ	55 weatherreport
00 ニュース	00 チョイス@病気になったとき「昼間の眠気」	00 ありがとッ! 藤沢・遊行寺の盆踊り▽ワッツ
20 BSコンシェルジュ	45 手話ニュース	45 一郎が入手した横浜産の卵とトマトで絶品料理を作る▽ポイント
45 まれ 土屋太鳳	05 すくすく子育て	05 スタジオパークから
00 ニュース	35 NHK高校講座 日本史▽世界史▽地理	05 さんには 藤原紀香
05 スタジオパークから	00 囲碁フォーカス▽大科学実験▽プロ野球	00 ニュース・気象情報
00 さんには 藤原紀香	00 ぼう▽NHKプレ	05 ファミリーヒストリー
05 ニュース・気象情報	00 みんなのうた▽えいご	55 テレビ体操
05 ニュース・気象情報	00 こごたま▽ちぶなう▽うらやす安心応援	00 ニュース・気象情報
05 ニュース・気象情報	00 1▽おかあさん	00 超絶 凄ワザ!▽最強
00 ニュース・気象情報	5.10にほんごであそぼ	00 ニュース シブ5時
20 超絶 凄ワザ!▽最強	5.10にほんごであそぼ	00 ニュース▽特集▽気象情報と▽いま旬▽地域の課題や話題
4.50 ニュース シブ5時	20 ミニアニメ	25 6.10首都圏ネットワーク
00 ニュース▽特集▽気象情報と▽いま旬▽地域の課題や話題	5.00 アニメはなかつぱ	

図11. 書体の違いによる読みやすさ評価に用いたラジオテレビ欄

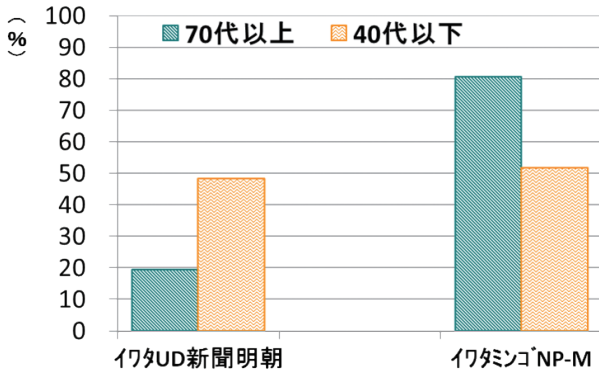


図12. 書体の違いによる読みやすさ評価

■ イワタミゴNP-M

4.30おはよう日本	5.30テレビでロシア語	5.30昭和からくた劇場
▽国内外の最新ニュース	6.55Eテレマシャキーン!	6.00情報特選街
▽スポーツ情報▽地域の課題や話題のレポート▽日本	▽アニメ▽デザイン▽ピタゴラスワックアップ	8.00キッズ劇場
00 まれ 土屋太鳳	00 おかあさんいないくないはあっ!▽えいご▽てれび絵本	8.30お買物情報暮らしに役立つ、選りすぐり商品
15 あさイチ「プレミアムトーク 山崎賢人」	00 さわさわ森のがんごちゃん「ラッパの一日」	9.00 いい伊豆みつけた
▽あさイチグリーンスタイル「今宵育てたい植物 夏のタネまき」	00 しぜんとあそぼ▽基礎	9.30 情報特選街 暮らし
00 ニュース・気象情報	00 英語▽基礎英語	59 tvkスポットニュース
15 きょうの料理	55 NHKプレマップ	10.00 デイリーキッチン
40 先どり	00 国境スタイル がん	30 お買物情報 暮らし
00 ニュース・気象情報	00 リトル・チャロ	59 お買物情報 暮らしに役立つ商品をご紹介
05 ひるまほっと▽いま旬▽首都圏ニュース	55 NHKプレマップ	55 weatherreport
00 ニュース	00 チョイス@病気になったとき「昼間の眠気」	00 ありがとッ! 藤沢・遊行寺の盆踊り▽ワッツ
20 BSコンシェルジュ	45 手話ニュース	45 一郎が入手した横浜産の卵とトマトで絶品料理を作る▽ポイント
45 まれ 土屋太鳳	05 すくすく子育て	05 スタジオパークから
00 ニュース	35 NHK高校講座 日本史▽世界史▽地理	05 さんには 藤原紀香
05 スタジオパークから	00 囲碁フォーカス▽大科学実験▽プロ野球	00 ニュース・気象情報
00 さんには 藤原紀香	00 ぼう▽NHKプレ	05 ファミリーヒストリー
05 ニュース・気象情報	00 みんなのうた▽えいご	55 テレビ体操
05 ニュース・気象情報	00 こごたま▽ちぶなう▽うらやす安心応援	00 ニュース・気象情報
00 ニュース・気象情報	00 1▽おかあさん	00 超絶 凄ワザ!▽最強
20 超絶 凄ワザ!▽最強	5.10にほんごであそぼ	00 ニュース シブ5時
4.50 ニュース シブ5時	5.10にほんごであそぼ	00 ニュース▽特集▽気象情報と▽いま旬▽地域の課題や話題
00 ニュース▽特集▽気象情報と▽いま旬▽地域の課題や話題	20 ミニアニメ	25 6.10首都圏ネットワーク
	5.00 アニメはなかつぱ	

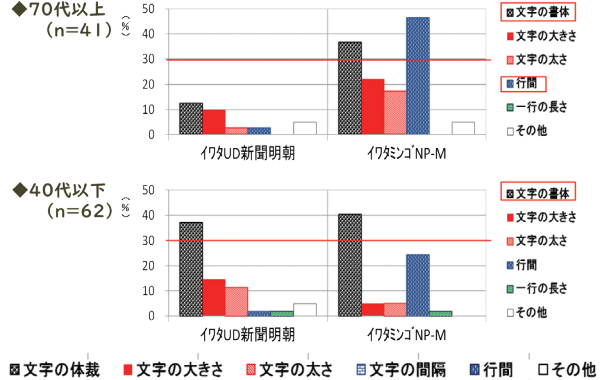


図13. 書体の違いによる読みやすさ評価理由

いかと想定される。若年者は文字の間隔、行間を理由としてあげている。

(3) 書体の違いによる読みやすさ評価

「書体の違いによる読みやすさ」を評価する紙面は、組体裁、コンテンツとも同じ条件のラジオテレビ欄で、イワタUD新聞明朝とイワタミンゴNP-M（以降、ミンゴ）の2書体を使用した紙面を基に作成した（図11参照）。

評価者には、読みやすいと感じるものを1つ選択してもらった。結果は図12に示すように、高齢者にはミンゴが圧倒的な人気であった。理由は、図13に示すように、行間と文字の大きさが挙げられているが、実際には文字の大きさは他方に比べて若干小さい。(2)の結果も同様であったが、高齢者にとって読みやすいものは「文字が大きくてよい」と表現されやすいのではないかと想像する。若年者の評価は優位性がない。評価の理由としてもフォントの体裁が一番に挙げられており、読みやすさをフォントの好みで評価していることが想定される。

4. まとめ

「新聞の読みやすさに関わるデザインの要件」には、「文字のサイズ」、「文字の太さ」、「文字の体裁（フォントデザイン）」、といった文字だけで完結する要素と、「文字と文字の間隔」、「行の間隔」、「段の間隔」などのレイアウトに関わる要素があげられる。さらに、文章の段落の読み始めの頭出しの視線がすっと入るかどうかが、見出しの見やすさなども重要なポイントであり、コンテンツによって変動があるものの配慮が必要である。

実際の文字のサイズの大きさだけでなく、文字に関わる様々なデザイン要素を含めてユーザは読みやすさを評価する際に「文字が大きくて読みやすい」と表現することがある。そういう意味で、各紙のUDフォントは読みやすさに貢献していると評価されている。

しかし、ユーザの言葉を真に受けずして、文字のサイズを大きくすることだけに集中すると、かえって見にくくなることもあるので注意が必要である。文字の周りの空間が空いているものも「読みやすい」と感じており、特に後期高齢者になると、文字の大きさと空間の見やすいバランスの重要性を実感している。若年者は、それほど困っていないので、違いが実際にはわかっていない。ゆえに、高齢者への配慮のポイントの詳細は、実際に後期高齢者に教えてもらうことが大事である。

本研究は、2018年11月に行われた新聞製作技術展「JANPS2018」で、共同研究者であるイワタ(株)の阿部浩之氏より報告された。その後、山形新聞は経営トップの指示で体裁変更に取り組み2019年元旦より、段間を広げた紙面に移行し、ラジオテレビ欄の番組表の書体をミンゴに変更する新聞社も複数でてくるなど、業界への影響も多く聞かれている⁵⁾。具体的には、扁平率を87%から85%に変更して段間を広げる（山形新聞社）、1段13文字を12文字に減らす（北日本新聞社、福井新聞社）などである。

大学の授業や講演などでも、聴講者に調査に用いた紙面を手にとってもらいながら本研究の結果を報告しているが、実際の紙面を使った研究は、定量的な数値は示しにくくとも結果の意図が伝わりやすいという手ごたえを感じている。

また、調査に協力した高齢者の方々にもこの研究結果を報告した。自分たちの意見を客観的に見て改めて気づくこと、その結果が社会を動かしていることに驚いていた。そして、新たな研究への参加に積極的な意思を示してくれた。

超高齢社会において、高齢者は様々なマーケットにおいてメインのユーザといっても過言ではない。体の機能の衰えを実感していない若年者が、多少の知識で配慮を重ねても、本来の改善になっていないこと、過剰な配慮がかえってじゃますることさえあるかもしれない。今の時代、十分に研究に参加いただける後期高齢者の方も多い。これからはリアルな社会で生活しているの方々のご協力をいただきながら、ストレスなく生活できるための研究を重ねていきたい。

謝辞

共同研究者の(株)イワタの阿部浩之氏、(株)静岡新聞社の齋藤哲史氏、メディア・ユニバーサルデザイン協会の橋本博氏のご尽力に感謝いたします。また、東京都墨田区立川町内会の方々、静岡市役所の方々、静岡文化芸術大学の教職員・学生及びご家族の皆様には、本研究に快くご協力いただきましたことに感謝いたします。

参考文献

- 1) 総務省 情報通信政策研究所「平成30年度 情報通信メディアの利用時間と情報行動に関する調査」, https://www.soumu.go.jp/iicp/research/results/media_usage-time.html (最終アクセス2020.1.6)
- 2) 荒瀬光治『編集デザイン入門』, 出版メディアパル刊, 2007.4, P
- 3) 楊寧, 須長正治, 藤紀里子, 伊原久裕「ユニバーサルデザインフォントの評価に関する研究 1—ユニバーサルデザインフォントの美感性に関する調査—」, デザイン学研究, 2018年 65巻 1号 p. 1_51-1_60
- 4) 朝日新聞DIGITAL ことばマガジン「縦と横 ビミョーな違い」, <http://www.asahi.com/special/kotoba/archive2015/moji/2010101500002.html%3Fpage=2.html> (最終アクセス2020.1.6)
- 5) 阿部浩之「読みやすく親しみやすい紙面デザインを考える —300人を超えるアンケートから見えたもの」, 新聞技術, 2019年 2巻No.248 p.82-88